

チーム名	クリエイタースタジオ N4	大学・学部	長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部	長崎県国境離島ステージ
プラン名称	いきいき生きる島 壱岐	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 () ①「しま」ならではの「観光まちづくり」 (○) ② 島がうるおう「観光まちづくり」	
リーダー名	オ木 真大 (さいき・まお)	本選出場 【長崎県観光連盟賞】		
指導教職員名	副学長 (国際交流) 特任教授 井川博行 (いがわ・ひろゆき)			
メンバー名	3名 ①オ木 真大(さいき・まお) ②浅川 容行 (あさかわ・ひろゆき) ③金子翔平 (かねこ・しょうへい)			

いきいき生きる島 壱岐

プラン概要

いきいき生きる島 壱岐 どんなプラン?

壱岐特有のきれいなビーチを
年中様々な方に来ていただきたいという思い
から“**ビーチ+スポーツ+地域観光**”という
新しいプランを考え出しました。

壱岐のビーチを歩いて楽しむ“ノルディック
ウォーキング”でめぐり、終わったあとには
島でのサービスを受けられるという内容です。
リピーターにも配慮をし、待遇サービスなど
を設ける予定です。

現地フィールド調査成果

錦浜、筒城浜、大浜など
ビーチに隣接する石田地区
の老舗民宿連合 (七浜会-SEVEN BEACH
NAVIGATOR)
の現場の方と意見交換ができ今後連携していく合意が
得られた。
・壱岐の蔵酒造、一支國博物館、辰ノ島の視察を行い、
地域資源として活かせるかどうかの視察。

1 問題の解決策、並びに**関係機関との調整**

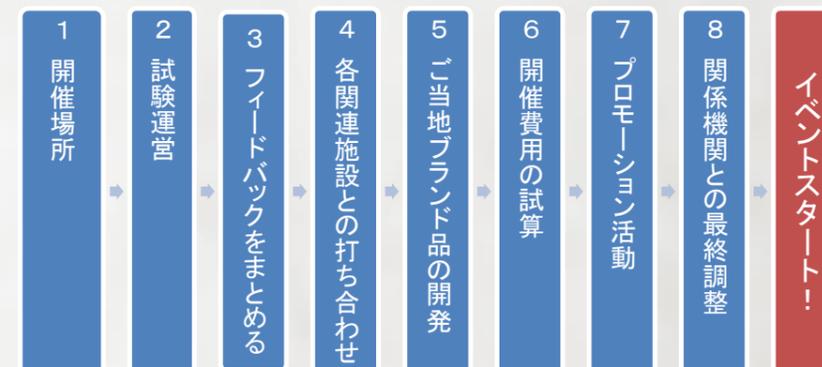
“ビーチ・ノルディック・ウォーク”を壱岐のビーチ
で展開する。スポーツ・健康が切り口であるため
シーズンを問わず通年の交流人口拡大が期待できる。
プラン実現のため、下記機関に相談し協力を取り付
けることができた。

1. 全日本ノルディック・ウォーク連盟
2. 長崎県スポーツ振興課
3. 壱岐市、壱岐市観光連盟

2 観光庁の方針を**調査**

オフシーズンのスノーリゾート、ビーチリゾート対策

3 提案プランの**実現計画**



4 プランの**全国拡張性**

同じ悩みを抱える全国のビーチリゾート
自治体とのノウハウを共有。

5 提案プランにおける**問題認識**

壱、夏季以外の観光客増加
式、島の交流人口増加を目指す

6 提案プランの**新規性**

壱岐のビーチをスポーツの
開催場所にする事で…

- ・知名度UP
- ・健康寿命UP
- ・地元ブランド力UP

他所にはない壱岐の魅力を提供することが
期待できる。

7 提案プランが実現した場合の**効果**

- ・年間を通した観光客の誘致が可能になる。
- ・それによって現地の民宿の収益UP
- ・観光業の進行による地域活性化につながる。